

## 事業計画書

事業名	平成25年度 ふるさと創生基金事業 1 案内看板整備事業
事業の目的・内容	<p>[目的] 与板地域のさまざまな名所・旧跡等の資源を活用し、地域内に設置されている既存の案内看板を整備することで、地域の活性化につなげることを目的とする。</p> <p>[内容] 1 地域看板の整備を含めた、地域内案内整備計画(案)等の検討</p> <p>2 与板地域案内看板のリニューアル 既存の看板の表示内容が古くなっているため、新たにできた地域資源を表記し、観光客をはじめ地域住民に解り易い案内を行うため、住民意見を取り入れ、板面をリニューアルする。</p> <p>住民主体によるワークショップ方式により検討した結果をふまえて、案内看板デザイン、表示内容等の整備を図る。</p>
事業の実施による効果	<p>・本事業(案内看板整備事業)実施により、地域住民が自ら地域資源を見直すきっかけとなると共に、住民目線で看板整備(表示内容等)を行う事から、より見やすく、理解・案内しやすい看板作成を行う事ができる。</p> <p>・併せて解り易い看板の整備により、地域を訪れる観光客への利便性向上を図る事ができる。</p>
事業の実施スケジュール	<p>5月 住民ワークショップの立ち上げ</p> <p>6月～ 8月 住民ワークショップの実施(現地確認含む)</p> <p>9月～11月 案内看板の整備</p>
備考	

## 事業計画書

事業名	平成25年度 ふるさと創生基金事業 2 地域への愛着を深める町内巡り歩き事業
事業の目的・内容	<p>[目的]</p> <p>将来の地域を担う子ども達が自分の住む地域をもっと知り、地域に愛着を持ち続けるきっかけづくりとして、町内看板を活用し、楽しみながら地域を散策する。保護者や地域の住民と一緒に参加することにより、地域のネットワーク・地域住民のふるさとへの愛着意識の向上、地域振興を目的とする。</p> <p>[内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 町内巡りを実施するにあたり、町内会ぐるみで町内の歴史や由来について学ぶ会の実施を呼びかける。(書物、町内の年長者から聞き取り等をする)</li> <li>2 与板地域を3つ程度に分け、ミウラ折のマップや町内看板のマップを持ちながら町内を巡るウォークラリーを実施 H22～24事業で整備された「町内案内看板」をチェックポイントとしてめぐり、町内についての紹介や簡単なクイズを行う(該当町内の子ども達を中心に講師をお願いし、聞き手は保護者・地域住民)</li> <li>3 町内の集会所を利用したの昼食会(とん汁配布)時に意見交換と簡単な反省会(ふりかえり)を実施</li> <li>4 アンケート、参加賞の配布</li> </ol>
事業の実施による効果	地域住民が楽しみながら地域の魅力を発見すると共に自ら住む地域資源を見直すきっかけとなり、地域の活性化が期待できる。また、町内の子どもが地元を語ることで、親子・地域のつながりが広がり、ふるさとへの愛着を深めることができる。さらに地域の話題としてPRすることで子どもたちの自信にもつながる。
事業の実施スケジュール	<p>7月 住民ワークショップの立ち上げ</p> <p>8月～9月 住民ワークショップの実施</p> <p>10月 実施</p>
備考	

## 事業計画書

事業名	<p>平成25年度 ふるさと創生基金事業 3 まちづくりシンポジウム事業</p>
事業の目的・内容	<p>[目的] 与板のことで知りたいことや残したいことなどをテーマに講演会を開催し、話を聴く機会を設け、いろいろ体験談などを通して将来の「人づくり」につなげていく。</p> <p>[内容] 1年間で終わっては意味が無いので、まちづくりシンポジウムとして継続性を考えて講演会等を実施する。 平成25年度は次の項目に絞ることとして、継続性を持たせ次年度以降に他の内容を取り入れていく。</p> <p>(1)大矢 紀画伯講演会 与板ゆかりの日本画展で開催されたトークイベントでの話など、与板地域住民の皆さんにもたくさんのメッセージと想いを伝えてもらいたい。過去2回小中学校でそれぞれ開催しているが、今回は一般向けの開催を企画する。</p> <p>(2)与板十五夜まつり(登り屋台)シンポジウム 登り屋台、社壇・神楽の関係者から屋台の歴史や思い、これからの課題などについて講演をしてもらい、話を深める中で地域全体の宝物となるようにしたい。 (可能であれば、県内で同様の催事を行っている団体関係者を招待しての講演会及びトークイベントによるシンポジウムを開催したい。)</p>
事業の実施による効果	<p>地域の未来へつなげるひとづくり、まちづくりをしていくうえで、地域ゆかりの大矢紀画伯の講演会や地域のシンボルとも言える登り屋台を題材にとりあげること、地域の将来を担う子どもたちや青年層からも郷土への親しみと認識を持ってもらうきっかけとすることができる。</p>
事業の実施スケジュール	<p>(1)大矢 紀画伯講演会 開催時期:毎年行われている絵画教室の時期に合わせて開催 5月 住民ワークショップの立ち上げおよび実施 6月 実施</p> <p>(2)与板十五夜まつり(登り屋台)シンポジウム 8月 住民ワークショップの立ち上げ 9月～10月 住民ワークショップの実施 11月 シンポジウムの開催</p>
備考	

事業計画書

<p>事業名</p>	<p>平成25年度 ふるさと創生基金事業 4 「ご当地グルメ」地域の食開発事業</p>
<p>事業の目的・内容</p>	<p>[目的] 与板地域では、他地域のような地域を代表する食(例:寺泊の海鮮、栃尾の油揚げ)と言われるものが無く、地域のアピールに苦慮してきた。 そこで、地域を代表する食(料理)を広く公募して今後の地域アピールとして活用を図ることを目的に行う。</p> <p>[内容] 1 公募による「食」募集 地元をはじめとした一般公募を行い、与板地域住民による審査を行う事で、与板を知っていただくきっかけづくりとしたい。 地元複数飲食店での提供など</p> <p>2 審査発表会の実施 書類選考及び応募者による試食作成・審査発表会を開催する事により、地域住民にも興味を持って見てもらうとともに、与板の新しい食として認識してもらう。</p> <p>実行委員会等を組織し、ワークショップ等を開催し、多くの住民意見をもらうことでより効果的な事業を計画する。</p>
<p>事業の実施による効果</p>	<p>平成25年度より地域を代表するゆるきゃら「よいたん」の始動もあるため、与板地域を代表する食を公募によって開発する事により、地域の話題として相乗効果が期待できるとともに、アピール(知る)できる事に加え、「食」をキーとした地域一体的な活性化が期待できる。</p>
<p>事業の実施スケジュール</p>	<p>9月 実行委員会の立ち上げ 10月～12月 ワークショップの実施 1月 公募 2月 発表</p>
<p>備考</p>	